

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営緑ヶ丘団地公営住宅建築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木市緑ヶ丘3-1-1 外	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	128 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年2月1日
敷地面積	2,942 m ²	作成者	株式会社アベ設計
建築面積	828 m ²	確認日	
延床面積	2,839 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 65%
上記+ 以外の: 62%
上記+: 62%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境 (敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項	
総合 用途が県営住宅であるので、低コストで且つエネルギー削減に配慮する。住宅に必要な自然光、自然風、自然熱を効率よく取り入れることができるように配慮し、また周辺の近隣住民や近隣の建物と調和する計画とする。	その他 工事中における重機などの振動、騒音は計測器などで監視を行い、周辺近隣への配慮をする。工事で発生した不要な資材を分別しリサイクル利用する。産業廃棄物が発生しにくい工事方法を考慮する。
Q1 室内環境 隣戸間の遮音性能、屋外の遮音性能は十分に確保する。居室の開口を大きくし光、風を積極的に取り入れるように配慮する。	Q2 サービス性能 建物更新や修繕時にリサイクルが容易にできる材料を使用する。設備配管等はコストと更新性、機能性のバランスに配慮する。
LR1 エネルギー 設備機器や照明機器にはエネルギー削減に配慮した機器を選定することでCO ₂ の排出削減を図る。	LR2 資源・マテリアル 再生材などを積極的に採用し資源の無駄使いやCO ₂ 排出削減を図る。また有害物質を含まない材料を最大限に採用する。
	LR3 敷地外環境 近隣周辺への日影による影響や風向きの変化に対する影響などが無い様な計画とする。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される